

令和5年度 家庭教育応援講座講師一覧表

(五十音順)

NO.	氏名	役職・肩書	講演テーマ、内容	保護者向け	親子向け	親子向け (幼児)
1	遠藤 由美	NPO法人子育てネットひまわり 理事 えんどうまめのおはなし会主宰	～絵本は愛の体験です～ 親子でわらべうた、お話、絵本等を楽しむ時間は、子どもたちが成長していく課程を応援する強い力となります。	○	○	○
2	岡 静子	公益社団法人香川県教育会事務局長 元小学校長	・子どもの笑顔を大切に ～子どもに寄り添うとは～ 『相手の大切に思うこと、子どもの心の中のパワーを引き出すこと、とにかく子どものやる気を引き出すためには、よく見て、よく聴いて、よくほめていくことが大切だと思います』同時に生活リズムについて	○		
3	葛西 優子	高松市教育委員	・子どもとの関わり方 ・子どもに身につけてほしい力 など家庭教育について。ワークショップ形式による親の気づきなど。	○		
4	金崎 洋一	ダンサー	【保護者向け】ヨガ、ストレッチなどを組み合わせたエクササイズを行い、心身のリフレッシュを図る。 【親子向け】子どもの年齢に合わせた親子での運動・遊び・ダンスを行い、親子の時間、体を動かすことを楽しむ。	○	○	○
5	川染 節江	元明善短期大学長、農学博士、管理栄養士	健やかな子育ては、楽しい食生活を基本に！	○	○	
6	川田 行美	はぐたいむヨガ® こどもと大人のためのヨガと瞑想&English-代表、 ヨガ・英会話講師	-ヨガで心と体をほぐしましょう- ・自分を大切に(する心理的安心感・自己肯定感) ・心身を健やかに(体を動かす気持ちよさ) ・親子でふれあ(楽しさと温もり・絆づくり)	○	○	○
7	木内 ひとみ	総合型地域スポーツクラブ「むれスポーツクラブ」 フィットネス専門委員長	【親子向け】親子ふれあい体操や、ストレッチなど 【保護者向け】リンパコンディショニング、ストレッチヨガなど 内容は相談して決める事もできます。	○	○	○
8	喜多 直美	高松市コミュニティスポーツ指導会代表	・夢のある子に育てよう 幼児の基礎体力の向上や親子ふれあい体操などの講演と実技。 小学生の体力づくり、レクリエーション実技。	○	○	○
9	鬼無 敬子	元小学校長、元幼稚園長	・子どもと保護者がともに命の尊さを実感できるような歌とお話(いのちのうたコンサート)、(日本の歌や名作) ・親の役割、家庭のあり方を考える子育ての話 ・絵本の紹介を通して親子で学ぶ子育ての話	○	○	
10	木村 アンリ	ラジオパーソナリティー・ アルミクジエンダー研究室 室長	・ジェンダーに関するもの ・LGBTに関するもの ・栗林公園に関するもの	○	○	
11	児玉 令江子	音楽療法センター「フロイデ」センター長、香川短期大学こども学科・新見公立大学健康保育学科 非常勤講師	・家庭教育の重要性 ・親子で楽しめる時間を持つこと	○	○	○
12	こもだ 恵	スタジオトゥルーチャーフィニストラクター 日本ベップトック普及協会認定講師	「やる気を引き出す魔法の言葉」ベップトック！ ベップトックとはやる気のスイッチを入れるための言葉がけのことで、アメリカのスポーツから生まれたベップトック、今や教育、家庭、ビジネスの世界にどんどん広がっています。出来ないことに対して「なんで出来ないの!!!」と言っていないませんか？ その捉え方を変えて伝えると劇的に変化が起きます。	○	○	○
13	佐藤 敦雄	高松市人権教育課 社会教育指導員	「人権意識の高い子どもたちを育てるために」をテーマに、『子どものほめ方』自尊心や自己肯定感の高め方』 『差別を支える習慣や風習の存在』など、子どもの成長にとって大切な保護者自身の人権意識の高揚につながる学びを提供する。	○		
14	須田 珠恵	コーチングサービスNICO代表	・子どもの自尊感情を育む、 「やる気」を引き出す関わり方 ・指導をやめて信頼すると子どもはイキイキ輝き始める ・「べき」を手放すと親子関係が劇的に良くなる ・男木島生活から見えてきた本当に大切にしたいこと	○	○	
15	十川 智美	子育てコーチ、笑顔のコーチングファシリテーター、 NPO法人日本コーチ協会四国チャプタ相談役、 NPO法人日本ファシリテーション協会四国サロン香川世話人	・笑顔で子育て 家族仲良くコミュニケーションのコツ ・ほめ方呪い ・家庭内ミーティングのすすめ 保護者の交流の機会、保護者の情報(不安)の共有。 笑顔のコミュニケーションのコツを話し、体験していただきます。(コロナ禍は講演のみ)	○		
16	田中 司	三井住友海上保険株式会社 四国東支店 スポーツ振興担当 パラアスリート 視覚障がい者柔道	「夢への挑戦」 これまで、さまざまなスポーツを経験してきた理由や、これから色々なことを学び挑戦する子どもたちへ出会いや経験の大切さをお話します。	○	○	
17	谷川 由紀	高松太田社労士事務所 代表	「アンガーマネジメント技術を学び、子育てをもっと楽しく！」 自分の感情を上手にコントロールできるようになると生きやすさにつながり、周りのコミュニケーションも豊かになります。	○		
18	瑞田 信弘	浄土真宗本願寺派 称讃寺 住職 一般社団法人 わライフネット 代表理事	・沢山失敗をしよう…それを沢山の経験にしよう。 ・生きる意味 ・「弱い自分」の「魅力」に気付こう。 ・お釈迦様の話 ・「他人の役に立てた喜び」を力にしよう。 ・後悔より反省。	○	○	
19	田村 治仁	高松市バラスポーツ協会 理事長 さらスポーツクラブ クラブマネージャー 一般社団法人IINE 代表	・ルールを守ることの大切さ ・共生社会に向けて ・想像力をはたらかせて相手のことを考える ・バラスポーツについて	○	○	○
20	中橋 恵美子	NPO法人わははネット	・今こそ家庭教育 ・おもちゃ美術館からみえたもの	○	○	○
21	永見 三智子	伝々虫	肉声で語られる物語を聞くことで想像する楽しみを味わい、それが子どもの心の成長に欠かせない「ばかりか、お話には子育てを楽しむヒントが詰まっている」ということ。 おはなし会、本などの紹介、わらべうた、お話のミニワークショップ等、ご相談に応じます。	○	○	○

NO.	氏名	役職・肩書	講演テーマ、内容	保護者向け	親子向け	親子向け (幼児)
22	能祖 秋奈	レクリエーションインストラクター	・親子のふれあい体操 (バスタオル・新聞紙等を使用し、親子でコミュニケーションを取りながら、楽しく体を動かす)			○
23	野郷 光宏	元小学校長	・人権を大切にしてしあわせづくりを～まず、自ら、そして、あなたも、みんなでも～ 人権とは、存在、ちがひ、個性、多様性を認めること。 一人ひとりが尊重され、多様性を認め、大切にしていける。 多文化共生社会の実現をめざすことを知り、感じ、実践していくことを学ぼう。	○	○	
24	蓮井 孝夫	香川国際ボランティアセンター理事、 フリーアナウンサー	・子育てコミュニケーション ・幼少期のボランティアの重要性 ・カウンセリング的コミュニケーション ・今を大切に生きよう	○	○	○
25	早谷川 悟	栗林おやじ塾代表	・学校と地域のつながり ・コミュニティスクールについて ・おやじの会について	○		
26	花房 順子	(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー	・「子どもの心と体」～今、保護者がするべきこと～ ・家庭でできるスポーツ選手のトレーナー	○	○	○
27	原田 さとみ	高松市民生委員、NPOマナー教育サポート協会講師、 電話応対技能検定指導者、コーチングコーチ	・“おはよう”の一言で面白い結果を創り人生を楽しもう ・人生は“グッドサイクル”で	○		
28	堀尾 光宣	元中学校数学教師、元高松市図書館協議委員、 こども未来館運営協議会委員	昨今、子育ては乳幼児に関わる人が多いが、小中高校生の家庭も子育て真っ只中である。が、この時期、多額のお金を使い、習い事、塾通い、または、学校に任せっきり、他人任せである。そうではなく学業や進路生き方については本人や保護者任せに、という信念で、真の学習の意味やその方法を分かりやすく話をします。	○		
29	町田 仁美	日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントコンサル タント、まちだ社会保険労務士事務所代表、 米国NLP(TM)協会認定NLPコーチ	・イライラ子育てから笑顔の子育てへ～アンガーマネジメントのすすめ～ ・子どもに伝わる叱り方 ・折れない心をつくる親から子へのギフト(贈り物)～リフレーミング～	○		
30	松本 洋子	(公社)日本シェアリングネイチャー協会ネイチャーゲームイン ストラクター	座学中心ではなく体験型です。 小学校、幼稚園、こども園、保育所の園庭や校庭の身近な自然に直接触れて、五感を働かせて季節の自然を感じる体験をします。子どもたちが自然に触れて感じた発見や驚きを受容し認めることの大切さに、体験を通して気づいて頂ける内容です。	○	○	○
31	元木 倫子	穴吹バティシユ福祉カレッジ 非常勤講師	【実技】・親子で体を動かして心をつなごう ・親子体操 ・楽しくできる体づくり運動～コーディネーション能力～ 【講話と実技】・運動遊びの大切さと今身につけるべき力 ・子どもたちに非認知能力を！～就学前の運動遊びで非認知能力を高める～	○	○	○
32	山本 文子	いのち咲かせたい代表、 助産師	・輝くいのちのために いのちの源の「性」と生まれでた「いのち」を真剣に考え、いのち輝かせて生きて欲しいと思います。 困難に立ち向かう強さ、周りの人に助けを求める勇気、どうしようもない苦しみから逃げ出すすべをもつことの大切さを伝えます。	○		
33	山本 真紀	日本赤十字社香川県支部 事業推進課 講習普及係長	・自宅での健康習慣(ロコモ体操、フレイル予防) ・認知症予防や対応の方法(脳トレ・認知サイズをやってみよう) ・リラクゼーション ・ハンドケア ・災害への備え ・日常生活における支援(車イス操作、食事、着替えの方法)等	○	○	○
34	横山 喜一郎	元小学校長、高松市少年教育指導員	【テーマ】みんなちがって みんないい 【内容】・基本的な生活習慣 ・家庭教育と親の役割 ・遊びと体験活動の重要性 ・自立と自尊感情 ・命の教育 ・入学までに身に着たい生活習慣	○		
35	吉川 和代	月経カウンセラー	男女共に伝える「月経教育・性教育」～生理と性と命のおはなし～ ・思春期男女の体の仕組み ・月経の仕組み、射精の仕組み ・「生理ってなんだらう？」 ・自分を大切にすることは？	○	○	
36	吉田 ゆかり	NPO法人 未来ISSEY 代表理事	・ボランティアのあり方・育成について ・「子どもが病気になっても、子どもとご家族が希望をもって生活できる香川を創る」ことを目指す未来ISSEYの活動 ・人と人をつなぐ「つながりロボット事業」について ・プレゼンテーションのノウハウ ・すてきなマナーのお話	○	○	○